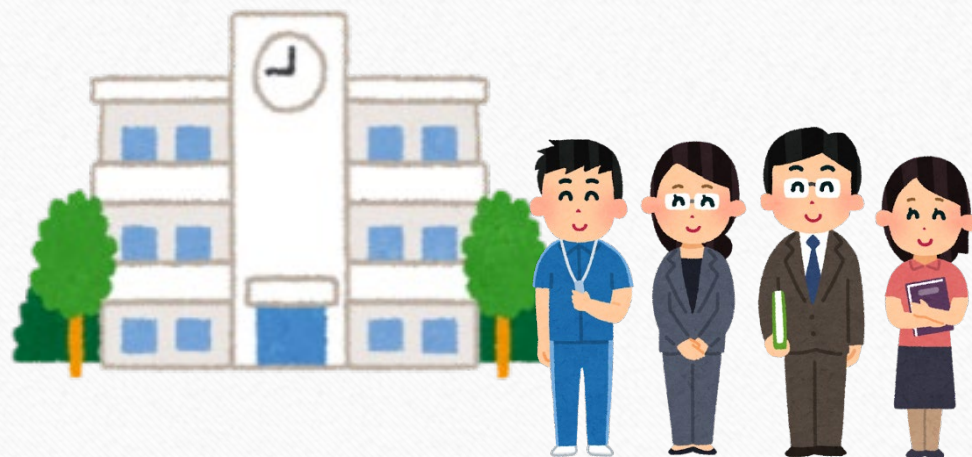


令和6年3月13日
質の高い教師の確保特別部会
(第10回)

資料 2

中央教育審議会「質の高い教師確保特別部会」

東京都における主任教諭制度について



東京都教育庁
人事部長

吉村 美貴子

- 1 主任教諭制度導入の経緯
- 2 主任教諭の職務・役割
- 3 東京都における教員のキャリアパス
- 4 東京都における教員の年収の推移
- 5 主任教諭の活用による効果

1 主任教諭制度導入の経緯

<導入前（平成20年度まで）>

4級職	校長
3級職	副校長
特2級職	主幹教諭
2級職	教諭 (85%)

【導入前の状況】

- 教員の85%が教諭
- 同じ教諭でも、人により職務の困難度・責任の度合いに大きな差
(個々人の資質・能力や意欲等による)
- 年功的・一律的な処遇



教諭の職を職責・能力に応じ、2つの職に分化（平成21年度～）

- ➡ 職責・能力・業績をより適切に評価し、処遇することで、
資質・能力の向上を図る。

<導入前（平成20年度まで）>

4 級職	校長
3 級職	副校長
特 2 級職	主幹教諭
2 級職	教諭 (85%) 養護教諭・栄養教諭 を含む



<現在（数値は令和5年度時点）>

6 級職	校長
5 級職	副校長
4 級職	主幹教諭・指導教諭
3 級職	主任教諭 (37.4%) 主任養護教諭・主任栄養教諭 を含む
2 級職	教諭 (45.9%) 養護教諭・栄養教諭 を含む

2 主任教諭の職務・役割

主任教諭「特に高度の知識又は経験を必要とする教諭の職」

(東京都立学校の管理運営に関する規則*)

* 各区市町村規則でも同様に規定

① 校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割

- 校務分掌上の主任をはじめとした校務運営面での重要な役割を担う。

＜例＞ ・ 校務分掌上の主任（学年主任、保健主任等）
・ 校務分掌における委員会の取りまとめ役、分掌部の部長
・ 特別支援教育コーディネーター



② 指導・監督層である主幹教諭のサポート

- 主幹教諭が学校運営上の円滑な調整や進行管理を行うために必要な実態把握・課題分析・説明・折衝等の業務を行い、各分掌の中心的存在として補佐する。
- 学校経営計画（方針）を具体化するとともに、現場の情報や提案について主幹教諭を通じて管理職に具申する。

2 主任教諭の職務・役割

③ 同僚や若手教員への助言・支援

- 分掌する校務の遂行、学習指導、生活指導、進路指導等、あらゆる場面で同僚や若手教員に対して助言や支援を行う。

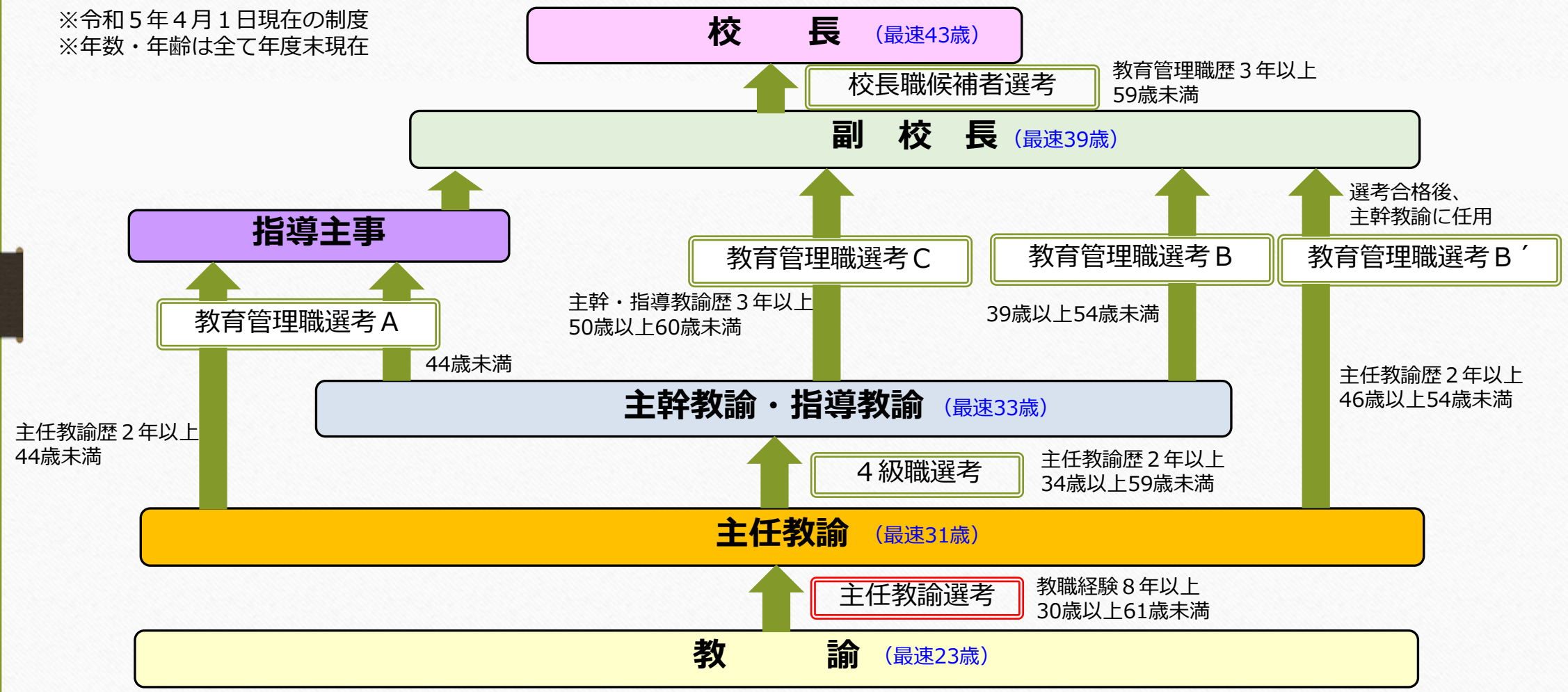
＜例＞ ・ 初任者研修における指導教員
・ 教科指導員
・ 若手教員の日常的な相談への対応



若手教員にとって身近な先輩である主任教諭が、日常的な相談に応じることや、助言することを通じて、その育成を積極的に進める。

3 東京都における教員のキャリアパス

※令和5年4月1日現在の制度
※年数・年齢は全て年度末現在



<主任教諭選考について>

【受験要件】

① 経験要件

国公立学校の正規任用教員又は臨時的任用教員としての**教職経験年数が通算8年以上**

(ただし、東京都における教職経験(臨時的任用教員の経験は含まず)が継続して2年以上必要)

② 年齢要件

30歳以上61歳未満

(定年引上げに伴い、
上限年齢は2年に1歳ずつ65歳まで引上げ)



【選考の内容】

① 職務レポート(手書き論文)

- ・ 1題(1,500字程度)
- ・ 課題意識や課題解決能力、表現力等について評定

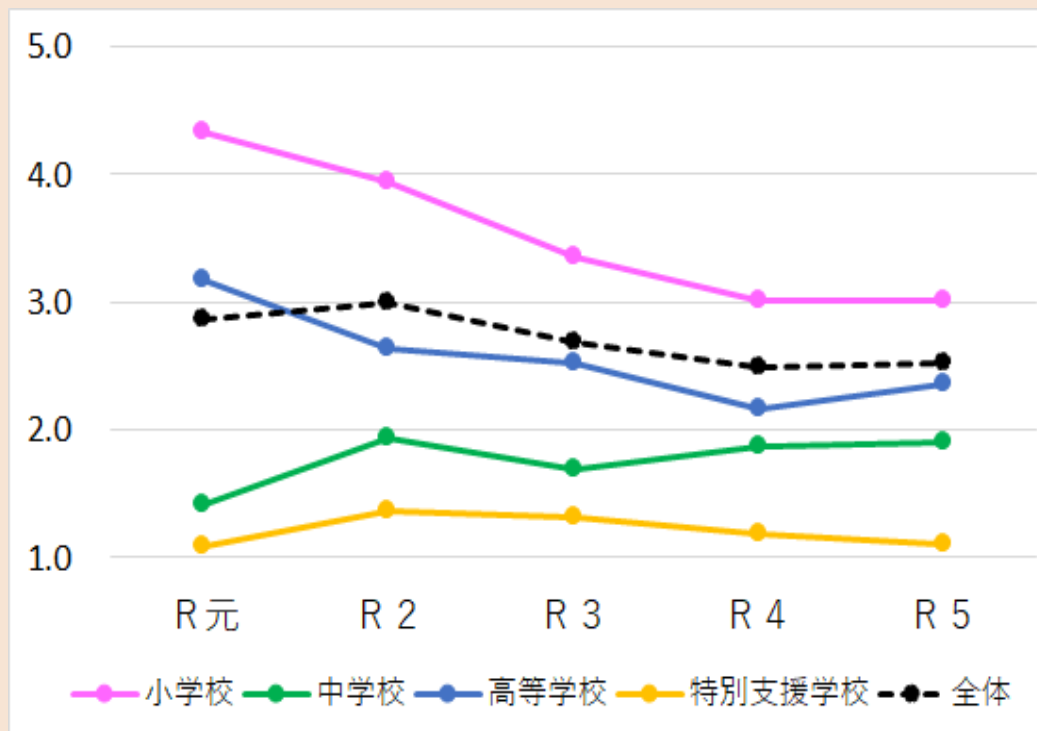
② 勤務実績

業績評価により、主任教諭としての
能力と適性について評定



【選考の倍率】

(倍)

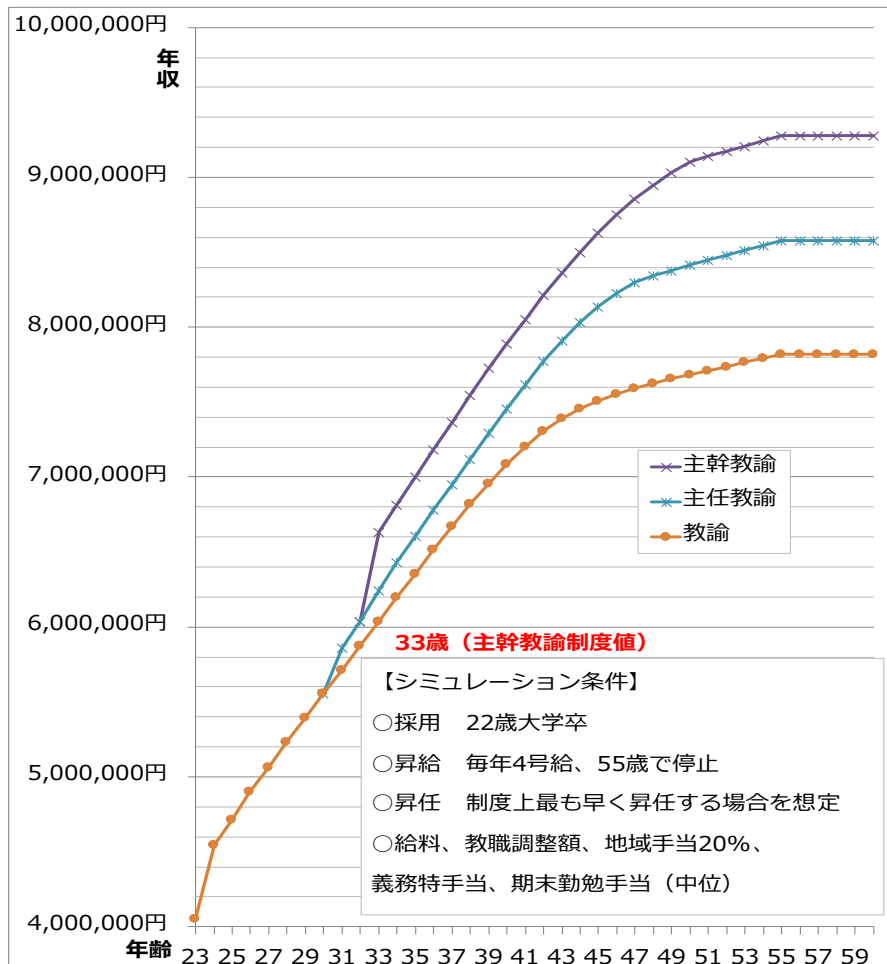


＜各職層の状況＞

	人数	全体に占める割合	最速の昇任・採用時年齢	昇任・採用時平均年齢	在職者平均年齢
校長	2,110	3.3%	43歳	54歳	57歳
副校長	2,505	3.9%	39歳	48歳	51歳
主幹教諭 指導教諭	6,053	9.5%	33歳	43歳	48歳
主任教諭	23,841	37.4%	31歳	38歳	45歳
教諭	29,243	45.9%	23歳	28歳	34歳

(R 5年度在職者の状況。年齢の部分は再任用者を除いて算出)

4 東京都における教員の年収の推移



<33歳時点>

職級	級・号給	年齢	給料月額	例月給与	期末勤勉手当	年収
主幹教諭	4級17号	33	313,800円	395,892円	約188万円	約663万円
主任教諭	3級21号	33	297,300円	375,160円	約174万円	約624万円
教諭	2級49号	33	289,800円	365,760円	約164万円	約602万円
主幹教諭と主任教諭の差			△16,500円	△20,732円	約△14万円	約△39万円
教諭と主任教諭の差			7,500円	9,400円	約10万円	約22万円

<60歳時点>

職級	級・号給	年齢	給料月額	例月給与	期末勤勉手当	年収
主幹教諭	4級105号	60	438,100円	554,028円	約262万円	約926万円
主任教諭	3級109号	60	407,800円	515,844円	約239万円	約858万円
教諭	2級137号	60	374,800円	473,990円	約213万円	約781万円
主幹教諭と主任教諭の差			△30,300円	△38,184円	約△23万円	約△68万円
教諭と主任教諭の差			33,000円	41,854円	約26万円	約77万円

5 主任教諭の活用による効果

① 組織的な学校運営

- 仕事の分担の明確化・業務の効率化（主幹教諭や管理職が、一層マネジメント業務に専念できる）

② 組織風土の活性化

- 若手教員を育成する体制の強化（中堅・ベテラン教員の更なる活用にもつながる）
- 一般教員と管理職の双方向のコミュニケーションが活性化

③ 自律的な人材育成

- キャリアプランを描きやすい（主任教諭が身近なロールモデルになる）
- 主任教諭選考の受験経験が、主幹・指導教諭や管理職への昇任意欲を持つきっかけに
（早期に選考受験を経験することで、更なる上位職選考受験の心理的ハードルが下がる）

